

令和7年度第3回廃炉安全監視協議会 追加質問・意見

(原子力安全対策課)

No.	質問者	該当資料・頁	質問内容	回答
1	田上 専門委員	資料3	大型廃棄物保管庫第1棟について、放射能濃度が高いSARRYの吸着塔類を保管することになるが、線量が高いため、空間線量率はどのように評価しているのか。	線量評価については、中に廃棄物が格納された状態で建屋のコンクリートの遮へい能力を考慮し周辺の線量が低くなるように計画を立てています。 福島第一原子力発電所構内の敷地境界における公衆影響は、大型廃棄物保管庫第一棟から最寄りの敷地境界の評価点において、「0.015mSv／年」という評価結果を得ています。 また、現在、保管対象であるSARRY吸着塔を屋外で保管をしており、保管中のSARRY吸着塔の周囲にある巡視エリアにおいて空間線量率を測定した結果は、「2～7μSv/h」です。 SARRY吸着塔を大型廃棄物保管庫第一棟に保管する場合には、建屋内で同程度、建屋外の周辺作業道路でより低い値となると評価しています。
2	事務局	資料1・p. 43	2号機の燃料取り出しで予定しているワイヤ修復燃料の取り出しについては慎重な作業が必要だと思います。資料では「専用の取り出し工法を適用する」としていますが、どのような手順、方法で安全に取り出すのか具体的に説明してください。場合によつてはワイヤーが切れる等により容易には取り出せないことも考えられますが、その場合はどのように対応するのでしょうか。	下記の実施計画面談資料を確認ください。 109～143/206ページにワイヤ修復燃料の取り出しについての説明で、ワイヤが切れた場合のことも記載してあります。 https://www.da.nra.go.jp/view/NRA100014335?contents=NRA100014335-002-002#pdf=NRA100014335-002-002
3	事務局	資料1・p. 43	2号機の使用済燃料プール内の燃料の健全性に関する会議中の質問に対し、回答の中で健全性に問題が無いと説明されました。p. 43には非健全燃料が3体と記載されており、差異があるように受け取られましたので、p. 43の内容を踏まえ再度ご説明ください。	3体は非健全なままで。また、ワイヤ修復燃料以外の2体については健全燃料と同様に取り扱えると考えており、その考えは上述の面談資料37/206ページを確認ください。